

市議会だより おおだ



2023（令和5）年11月19日発行

- 🐰 12月定例会・10月臨時会 …………… 2
- 🐰 一般質問に13人 …………… 5
- 🐰 常任委員会・協議会・
特別委員会報告 …………… 12
- 🐰 インタビューコーナー
～産業建設委員会編～ …………… 15

表紙の写真
三瓶町池田の大イチョウ(柿田賢次議員撮影)
～一面黄金色に彩られた風景～

12月定例会市議会は、令和4年12月2日(金)～19日(月)までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。



(一般会計総額) 257億284万円)



温泉津町荻村の被害

**現年耕地災害復旧事業
2,214万円**

令和4年8月の豪雨で被災した農業用施設の災害復旧(23ヶ所)



大森の町並み

**特定地域づくり事業協同組合
支援事業
710万円**

大森地区における特定地域づくり事業協同組合の設立に対する支援

新設条例

【賛成多数、原案可決】

▼大田市個人情報保護法施行条例制定について
個人情報保護のルールについて、全国一律の規定が適用されることに伴い、法の施行に係る細目を定める。

▼大田市個人情報保護審査会条例制定について
個人情報保護制度の適正かつ公正な運営を確保するため調査審議機関を設置する。

【全会一致、原案可決】

▼大田市職員の高齢者部分休業に関する条例制定について
職員の定年引上げにあわせ、高齢期の職員の多様な職業生活設計の支援を図る。

▼大田市スポーツ振興基金条例制定について
2030年に島根県で開催予定の国民スポーツ大会等を円滑に実施するための整備に係る財源等として、新たな特定目的基金を設置する。

議員提出議案

【全会一致、原案可決】

▼大田市議会の個人情報保護に関する条例制定について

▼水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直し方針に関する意見書の提出について

皆さんからの請願・陳情

【継続審査(総務教育委員会付託)】

▼マイナンバーカード取得の任意性を尊重する
請願

(請願者) 大田市長久町在住
熱田幸隆

12月定例市議会

一般会計
補正予算
(第7～8号合計)

補正額 10億21万円

主な補正内容



利用期間 令和5年3月～5月

おおだプレミアムお買い物チケット
発行事業 3,500万円

市内店舗等で利用できるプレミアム付きお買い物チケットを販売し、景気の回復及び地域の活性化を図る



出産・子育て応援事業 3,703万円

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、伴走型相談支援と、経済的支援を一体的に実施

10月臨時市議会

10月24日
開催

令和4年度一般会計
補正予算(第6号)

4億478万円



主な補正内容	補正額
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業(電力等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり5万円を支給)	3億3,895万円
現年土木災害復旧事業(令和4年8月の豪雨及び9月の台風により被災した公共土木施設の緊急対応及び復旧、河川21ヶ所・道路11ヶ所)	6,340万円

指定管理議案一覧表

施設の名称	指定管理者となる団体の名称
大田老人福祉センター	社会福祉法人 大田市社会福祉協議会
指定する期間：令和5年4月1日～ 令和10年3月31日までの5年間	
石見銀山龍源寺間歩	石見銀山 みらいコンソーシアム
指定する期間：令和5年4月1日～ 令和8年3月31日までの3年間	
大田市民会館	公益財団法人 大田市体育・公園・文化事業団
指定する期間：令和5年4月1日～ 令和10年3月31日までの5年間	

◇10月臨時会提出議案等賛否一覽表

議案名	議員名等																					
	議決結果	賛成	反対等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太	
■市長提出議案																						
議案第48号 令和4年度大田市一般会計補正予算(第6号)	可決	17:0																				一

◇12月定例会提出議案等賛否一覽表

議案名	議員名等																					
	議決結果	賛成	反対等	塩谷裕志	伊藤康浩	柿田賢次	清水好	宮脇康郎	和田章一郎	亀谷優子	根宜和之	森山幸太	胡摩田弘孝	小川和也	石田洋治	松村信之	河村賢治	月森和弘	石橋秀利	清水勝	小林太	
■市長提出議案																						
議案第49号 令和4年度大田市一般会計補正予算(第7号)	可決	16:0																				欠一
議案第50号 令和4年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	16:0																				欠一
議案第51号 令和4年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	16:0																				欠一
議案第52号 令和4年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	16:0																				欠一
議案第53号 令和4年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	16:0																				欠一
議案第54号 令和4年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第1号)	可決	16:0																				欠一
議案第55号 令和4年度大田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	16:0																				欠一
議案第56号 令和4年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	16:0																				欠一
議案第57号 令和4年度大田市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	16:0																				欠一
議案第58号 令和4年度大田市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	16:0																				欠一
議案第59号 令和4年度大田市病院事業会計補正予算(第3号)	可決	16:0																				欠一
議案第60号 大田市個人情報保護法施行条例制定について	可決	14:2						●		●												欠一
議案第61号 大田市個人情報保護審査会条例制定について	可決	14:2						●		●												欠一
議案第62号 大田市職員の高齢者部分休業に関する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第63号 大田市スポーツ振興基金条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第64号 大田市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第65号 大田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第66号 大田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第67号 大田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第68号 大田市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第69号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第70号 大田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	14:2						●		●												欠一
議案第71号 大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第72号 大田市議会議員及び大田市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第73号 大田市通学バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第74号 大田市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第75号 波根町の字の区域の廃止について	可決	16:0																				欠一
議案第76号 大田老人福祉センターの指定管理者の指定について	可決	16:0																				欠一
議案第77号 石見銀山龍源寺間歩の指定管理者の指定について	可決	16:0																				欠一
議案第78号 大田市民会館の指定管理者の指定について	可決	16:0																				欠一
議案第79号 財産の取得について	可決	16:0																				欠一
議案第81号 令和4年度大田市一般会計補正予算(第8号)	可決	14:2						●		●												欠一
議案第82号 令和4年度大田市病院事業会計補正予算(第4号)	可決	16:0																				欠一
■議員提出議案																						
議案第80号 大田市議会の個人情報の保護に関する条例制定について	可決	16:0																				欠一
議案第83号 大田市議会議員の議員報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について	可決	14:2						●		●												欠一
意第4号 水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直し方針に関する意見書の提出について	可決	16:0																				欠一
■請願・陳情																						
請願第1号 マイナンバーカード取得の任意性を尊重する請願	継続審査																					

※定数18名、うち議長(小林 太)は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々) ※欠は欠席

いっぱん質問

市政に対する一般質問は、12月7日、8日に行われ、13人の議員が執行部の考えをいただきました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.oda.lg.jp/>)で閲覧できます。)



▲メリークリスマス！サンタとトナカイがやってきた（12月21日 志学保育園）

新庁舎建設ありきで 進めるべきではない

新庁舎の機能や規模を明確にした上で、それに見合った財源を確保したい

和田章一郎 議員



質問

市は新庁舎建設に向けて、近く基本構想策定の業者を決める運びとなっているが、市の中期財政見通しによれば、将来の大田市に危惧の念しか浮かばない。家庭で言えば貯金である財政調整基金も底をついている現状と、市以上に財政危機にある国からの地方交付金も、いつまでもあてにできない状態にあることを踏まえれば、建設ありきで進めるべきではないと考える。少なくとも建設費の半額程度の基金を積んでからでも遅くはない。

答弁

財源確保は大きな課題であると認識しているが、まずは新庁舎の機能や規模を基本計画により明確にした上で、それに見合った財源

を確保していきたい。

基本的には庁舎整備というところだけでは補助金や有利な起債はないが、施設の複合化や多目的化、国の政策に沿った機能の整備等によって、補助金や有利な起債が利用できる可能性もある。また、新庁舎整備を念頭において財源確保の一つとして、昨年度、大田市公共施設総合管理基金を創設、現在1億5000万円を積み立てている。

一方で、PFI等の民間活力の導入も視野に入れ、整備手法の検討も進めている。現段階で財源内訳を明言することはできないが、様々な条件を検討し、できるだけ大田市の財政負担が少なくなるよう工夫をしていきたい。

和田議員その他の質問項目

- ・ 多文化共生の推進
- ・ 学校のあり方
- ・ 人事について（管理職）

JRの利用推進を

鉄道路線は地方にとって重要なインフラである

しみず 清水 好 議員



会を通じて国やJRにも要望活動を
されている。
②市職員の公務出張に関しては、行財政改革の観点から、中国地方管内は原則公用車を使用する。但し、出張の行程や公務上必要な場合は鉄道利用を認めるという取り決めになっている。

質問 大田市にとって公共交通機関、特にJRは必要不可欠である。そこで、次の2点について伺う。

- ①大田市は、国、県に対して何らかの要望、意見書は出したのか。
- ②市民に先駆けて大田市役所職員が出張の際にJRを利用する事は可能か。車で行くと、その間すごく神経を使う。列車の場合、精神的にも体力的にも非常に楽であり、待ち時間に調べ事ができる。このことを踏まえた考えを伺う。

答弁

①当市においてもJRの存続は重要な課題であるとの認識の下、島根県市長会を通じ、本年10月島根県知事に対し、地方鉄道の維持確保について要望した。県は、全国知事

いずれにしても地方の鉄道路線は、通勤、通学、通院のための生活交通に加え、インバウンドを含めた観光等のための広域的な移動手段としての役割も担っており、地域活性化や住民の生活に欠かせない重要なインフラであり、将来にわたって官民一体となつて守り生かすべきと考える。



▲大田市駅

コロナ感染症の備えと物価高騰による支援策は

個人消費を喚起するための施策等を中心に予算化

しみず 清水 まさる 議員



答弁 ①感染対策予防については、これまでと同様に3密の回避をお願いし、マスクの着用や手洗いなど、引き続き感染予防に努めていただく。また、重症化予防の効果が期待できるオミクロン株対応2価ワクチン接種を検討いただくとお願いしている。

陽性者については、9月26日より全数届け出の見直しがあり、医療機関から発症届出の対象者を4類型に限定、発症届に基づき、保健所が優先度の判断を行い、入院の要否を決定し調整している。

②令和4年度の予備費分のうち、原油価格・物価高騰対応分の約1億5100万円は、畜産経営持続支援事業・キャッシュレス決済ポイント還元金等に予算化し、電気ガス・食料品等価格高騰分約1億3500万円は肥料価格の高騰対策、保育施設や小・中学校の給食費の負担軽減等に予算化した。

予算未措置額、9900万円については、市内における個人消費を喚起するための施策等を中心に、取り組みを検討する。

質問 長引くコロナ感染症は第8波に及び、ウクライナ戦争とゼロ金利政策で円安が生じ、食料品や光熱費等の生活必需品の異常な物価高で多くの生活困窮者が生まれている。国からは地方に交付金等の支援はあるが、勤労者の実質賃金や年金受給者の可処分所得は下がる一方で、一般家庭・高齢者・低所得者の健康と暮らしを直撃している。そこで次の2点について伺う。

- ①コロナ感染症第8波に備えた予防策と、陽性者には入院療養を前提とした善処策を求めます。
- ②物価高に苦しむ方々に、国の財政支援策を熟知された支援と交付金の未執行分を生活弱者に早期・有効に活かされたい。

庁舎管理の徹底を

必要に応じた庁舎管理規則の見直しや運用方法を構築する

つきもり かずひろ
月森 和弘 議員



なのか、また議員などからの心理的圧力があつたかなどについて、これまで調査したことはない。政党機関紙を購読するかどうかは、あくまで職員個人の意思によって判断し行われている。

質問 庁舎内で政党機関紙の購読勧誘が行われている。職務中かつ職場での購読は公務員の職務上の政治的中立性が疑われる、以下3点について問う。
① 政党紙の勧誘及び配布や集金の実情。
② 購読内容の調査。
③ 許可なく配布集金は個人情報預かる役所として問題。職務の中立性、公務の円滑かつ適正に執行するため、執務室での勧誘を禁止する条項を規則に追加されたい。

答弁 ① 庁舎内で、職員に対し政党機関紙の配付、集金が行われていることは確認しているが、勧誘については把握していない。
② 政党機関紙の購読が自発的なもの

③ 機関紙の勧誘、配付、集金行為を行うことは、庁舎管理規則の第3条の許可行為として、販売その他これに類する商行為又は講演その他の宣伝行為に該当するため、市長の許可を受けなければならない。業務時間内において個人情報を含む重要な情報は職員が適切に管理しており、セキュリティ上の問題はない。庁舎管理規則は、庁舎内の維持管理、庁舎内において行う市民や来庁者などの特定多数を対象とした行為や部外者が庁舎内で行う行為等について主に規定しているものである。必要に応じた庁舎管理規則の見直しや運用方法を構築するなど、今後対応したい。

ヤングケアラー支援策 今後の方向性は

SNSを活用した相談窓口の周知に努めていく

もりやま こうた
森山 幸太 議員



ター、医療機関、歯科医療機関などへ掲示を行った。また、市民向けには昨年度から11月の児童虐待防止推進月間に合わせて、図書館でのパネル展示による啓発を行っている。

質問 ヤングケアラーとは、10代で勉強や仕事をしながら、障がいのある家族の介護をする若い人のことである。ヤングケアラーは、介護の負担が大きいことで、社会生活、家庭生活、人生設計に甚大な影響を及ぼすことになる。この度の国の調査報告、支援策を受け止めた上での市の今後の方向性について伺う。

答弁 国の調査報告を受け、市としてもヤングケアラーを早く見つけること、支援につなげることが重要であると受け止めている。また、ヤングケアラーについての認識を高めるために、子供向けには、ヤングケアラーの具体例を示したポスターを市内小・中学校、まちづくりセン

今後は、子供自身が直接相談できるように、市の電話相談先や島根県教育委員会が設置しているSNSを活用した相談窓口の周知に努めていく。また、関係機関が相談を受けた際は、子ども家庭支援課へ相談できるよう、さらに周知していきたい。

☆ヤングケアラーとは…

法令上の定義はありませんが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもとされたい。



森山議員その他の質問項目

・障がい者への合理的配慮について

大田市立病院 出入口付近の 安全対策は

適正な環境整備に
努めていきたい

みやわき やすろう
宮脇 康郎 議員



量が少ないこと、また、信号機の取付けを前提とした場合においても、設置する場所を確保することができないため、出入口への信号機設置は困難であるとの回答を得ている。

県道大田桜江線については令和6年度中に一部工事が完了予定であるが、この区間の完成により、国道375号を利用される方の利便性が向上し、現行の出入口の交通量に変化があるものと見込んでいる。

今後、道路管理者である島根県と連携し、病院に通院される方や付近を通行される方の安全確保を第一として、適正な環境整備に努めていきたい。

宮脇議員その他の質問項目
・サンレディー大田の後利用



▲市立病院出入口の交差点

質問 車で市立病院に入る時、栄町方面及び久利方面いずれもスムーズに入れるが、病院から退出する時、栄町方面からは、下り坂で、通行する車は、スピードが出やすく、また周囲は樹木が繁り、見通しが悪いため、危険を感じるなどの声が多い。出入口に信号を設置するなど、車で安心して退出できるように、来院する市民の安全を確保し、交通事故を未然に防ぐ立場での病院としての安全対策を伺う。

答弁 車で市立病院敷地から出入りする運転者にとって若干見えない状況になっていると認識して、信号機の設置については、設置基準に対して、市立病院出入口付近の交通

JR山陰本線、出雲市以西 並びに山口線の将来

過去の経過からJRと国が責任を持って事業継続に取り組むべき

かわむら けんじ
河村 賢治 議員



質問 今年3月、ダイヤ改正があり、普通列車の運転取り止めなど整理があった。乗車人数がいなかったため、仕方ないことと思う。今、山陰に新幹線をという意見もある。しかし、在来線の大切さを訴える新聞投稿も多くあり、その通りと思う。

開通から100年を超えた古いトンネルや鉄橋。雨や風による倒木や土砂崩れも心配である。

国、県にどうやって鉄道を残せるか、協議の場を持っていただくよう伺う。

答弁 本年10月、大田市が音頭を取り、島根県知事に国土交通省の有識者検討会で示された新たな協議会について、協議内容等を明確に

示すとともに、地域の声が十分に反映される仕組みとなるよう、国に働きかけること。沿線自治体や関係機関と連携し、利用者増につながる効果的な対策の検討及び必要な予算措置と着実な実施。事業者の届出で事業廃止できない現行鉄道事業法制度見直しとの3点について要望した。また、12月末にはJR路線の利便性向上と持続の可能性について、市、県等関係機関一体となり、維持、活性化に向けた具体的な対応策が議論されることとなっている。今後必要に応じて、国、県に対し様々な支援を講じるよう、沿線自治体等と連携し、要請を行うこと。

河村議員その他の質問項目
・選挙管理委員会の今後のあり方



▲JR山陰本線石見福光駅付近

加齢性難聴への 公的支援を

新たな制度の考えはないが
生活習慣予防の取り組みで対応

かめたに ゆうこ 議員
亀谷 優子



分ける能力を最大限に発揮することは大切であると証明されていると認識している。

本市での補聴器購入の補助制度は、聴覚障がいによる身体障害者手帳を持つに際し、障害者総合支援法に基づき購入費の助成を行っている。

内容は基準額内での購入の場合、住民税非課税世帯の方は費用の1割相当が自己負担となり、加齢性難聴の場合でも聴覚障がいの基準に該当し手帳を取得すれば対象となる。現存制度を活用して頂くことで、提案の新たな助成制度の創設は考えていない。

加齢性難聴予防には、適切な食事・運動・睡眠・禁煙などの生活習慣の見直しが有効であり介護予防教室や健診などを通じて取り組んでいく。



亀谷議員その他の質問項目

・選挙における投票機会の確保

質問

デジタル化とは、大きく二つの要件がある。一つは、地球の裏側ともリアルタイムで繋がることができ、「距離の短縮」。もう一つは、今まで人間がやってきたことをプログラム化し、機器が行うことで実現する、「時間の短縮」である。そこで以下の2点について伺う。

①ギガスクール構想の実現に向けた取り組みの現状と実績、及び今後の課題について
②大田市行政のデジタル化の現状と実績、及び今後の課題について

答弁

①この構想とは、子どもの理解力、個性に応じて資質能力を育成できる教育ICT環境を目指すものである。令和2年度より児童生徒への

デジタル化の 現状・実績・課題

積極的に活用・推進していく

いとう やすひろ 議員
伊藤 康浩



端末と通信ネットワークの整備、それ以降では電子黒板などを整備して、ICT機器を用いた学習活動を定着させてきた。併せて、印刷などの教員の業務短縮や、生徒への評価が効率的・効果的に進められ、学校の授業や家庭学習での積極的な参加が増えている。

今後は、教員への操作や活用などの研修を実施し、デジタル化を最大限、教育に生かすことが求められる。

②行政でもデジタル化の活用により、業務の効率、住民サービスの向上などが求められる。現状では、Web会議やペーパーレス会議、電子決済、テレワークなどを導入、併せて、庁内の無線LANの整備をしてきた。

今後は、自治体情報の標準・共有化の対応や、行政手続きのオンライン化などの推進が必要と考える。



▶家庭学習にも活用されているタブレット

危険空き家や ごみ屋敷への対応は

適正な管理を求めていく

ねぎ かずゆき
根宜 和之 議員



質問

人口減少の影響などにより空き家が増加している。倒壊の危険だけでなく、周辺の生活環境悪化につながるため、空き家所有者に管理責任を理解してもらうことや、市民への周知啓発が重要である。

周知の考えや対応、また危険な空き家の現状と相談状況や対応について伺う。

また、ごみ屋敷の増加も予測されるが、大田市における状況と対応方針について伺う。

答弁

島根県西部地震後の調査で空き家472件であった。危険空き家については、350件超の相談があり、その大部分は、瓦や壁、窓ガラス等

の周囲への飛散だが、中には倒壊のおそれがある事例もあった。本来、所有者や管理者が適正に管理すべきであり、不良度の判定に基づき、所有者等に適正管理の依頼文書を送付し対応している。適正管理のための補修や解体には多額の経費がかかり、対応困難な場合もあるが、中には補助制度を活用し解体、修繕等につながった事例もある。

ごみ屋敷問題については、市民等からの情報提供により現地を調査、改善するよう依頼している。ごみの処分について対応困難な場合は、市の収集運搬許可業者に依頼し、処分するよう促している。



▶ 増える危険空き家

高齢者ドライバーへの 安全運転サポートを

高齢者講習施設の整備を進める

かきだ けんじ
柿田 賢次 議員



質問

近年、高齢者ドライバーによる運転誤作動での交通事故が多発しており、交通安全対策が急務となっている。車両自体に安全運転支援装置が搭載されているサポート車が普及する中、買い替えができない高齢者に安全運転支援機能がついているドライブレコーダーを設置することにより、安全運転のサポートができるのではないか。

答弁

全国であり運転が社会問題となったことから、この対策としてドライブレコーダーの需要が増えた。設置のメリットは、運転中の事故や車の中で発生したトラブル、あるいは運転の被害等様々な事態の詳細を正確に記録できることで、車上荒らし

や車へのいたずら等駐車中のトラブルを抑制する効果もある。

一方、運転時の視界が狭まる場合があることや、機種により感度や性能が違い、また全て音声での警告によるもので、難聴の高齢者には伝わりにくいこともあり、一律に効果が期待できないため、現在のところ新たな補助制度は考えていない。安全運転のサポートについては、大田警察署等の協力をいいただき、高齢者を対象とした交通安全教室を開催する等安全運転の意識の啓発に努める。

また、現在高齢者が運転免許を更新できるような高齢者講習施設の整備を進め、令和6年秋の供用開始をめざしている。



▲ 搭載率が毎年上昇しているドライブレコーダー

公共下水道の整備状況と今後の見通しは

新下水道構想の
堅実な事業実施をしていく

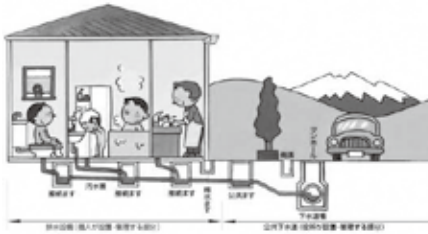
こま だひろたか
胡摩田弘孝 議員



質問 大田市の基本構想計画（新下水道構想）の中では、近年の人口減少や高齢化の進行など、汚水処理施設整備を取り巻く環境が大きく変化する中、効率的かつ適正な整備手法を選定し、計画的に実施するとあるが、より地域の実態や現状に則した下水道整備を出来るだけ早く実施することが、生活環境の整備や定住対策にも繋がると考えるが、整備の状況や今後の事業の見通し等を伺う。

答弁 下水道基本構想は、平成17年度に策定され、平成29年に見直しを行った。令和2年度で、温泉津処理区と仁摩処理区は整備が完了し、現在大田町の橋北、橋南地区や久手町刺鹿等において大田処理区の公

共下水道整備を進めている。令和13年度の整備完了をめざしているが、目標の達成は厳しい状況にある。その要因は、市街地での交通規制や夜間工事等について、市民生活や店舗営業に対する影響について調整に期間を要し、その結果施工期間が増加することにある。汚水処理人口普及率は、令和8年度、目標値を67%としているが、現時点では達成する見込みである。水洗化率については、令和13年度60%以上とし、令和3年度末55%、将来的には70%以上をめざしたい。今年度は、基本構想の見直しを予定しているが、接続率向上に向け、新たな接続促進対策の実施に努力したい。



▲公共下水道に接続

出産・子育て応援 施策の充実を

必要な支援が妊婦・子育てに
届くよう取り組む

いしだ ようじ
石田 洋治 議員



質問 少子化・人口減少は喫緊の課題である。先般、国の総合経済対策において、妊娠時から出産子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を一体として実施する「出産・子育て応援交付金」を創設されたところである。大田市における少子化の現状と第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況、出産・子育て応援交付金を活用した子育て支援策の充実について所見を伺う。

答弁 第2期子ども・子育て支援事業計画は令和2年度から令和6年度までの5年計画であり、事業の進捗状況を毎年度、有識者や保育園関係団体、保護者などの代表者で構成される大田市子ども・子育て支援推進

会議において点検・評価を行っている。出産・子育て応援交付金を活用した子育て施策では、母子健康包括支援センター「おおだっこ」を設置し、妊娠期から子育て期にわたるまで、安心して妊娠・出産・育児が行われるよう事業を実施している。また、妊娠届け出時、妊婦8か月前後、出生届け出から乳児家庭全戸訪問までの、出産から育児など見通しを立てる伴走型相談支援が求められる中、大田市ではすでに実施し、更にこどもには赤ちゃん訪問事業、育児教室などの事業も行い、相談しやすい環境づくりや、子育て支援センターなどの子育て情報を周知し、孤立予防にも取り組んでいる。

今後は、経済的支援である出産・子育て応援金の支給と一体的に実施することで、必要な支援が確実に妊婦・子育て家庭に届くよう、事業に取り組む。

石田議員その他の質問項目
・小学生のスポーツ活動

常任委員会視察報告

総務教育委員会

日時：令和4年11月1日(火)

視察場所

・市内7小中学校
 〔大田小学校(昭和55年)・久手小学校(昭和62年)・鳥井小学校(平成3年)・静間小学校(平成4年)・五十猛小学校(平成3年)・仁摩小学校(昭和53年)・大田西中学校(昭和41年)〕

総務教育委員長

胡摩田 弘孝

総務教育委員会では市内小中学校の建物の現状について視察した。

大田小学校では外壁のところどころに劣化による剥離が見られ補修の必要性があることを確認。

久手小学校では躯体本体には大きな損傷は見られなかったが一部塩害による外壁の劣化が見受けられた。鳥井小学校、五十猛小学校、仁摩小学校、大田西中はいずれも塩害による外壁の劣化が著しく早急な対応が必要。



▲大田小学校(外壁の剥落が目立つ)



▲五十猛小学校(塩害による劣化を確認)

静間小学校は躯体の損傷は少なく当面修理等の必要は無いと思われる。今回の視察で早急な対応が必要な校舎については児童生徒の安全を第一に考え早急に修理を実施していただきたい。

議会タブレット導入・運営協議会

会長

石田 洋治

11月22日に開催。

タブレット端末貸与・運用規程について、県内で既に先行導入している市議会や県外の市議会を参考に、大田市の運用規程について協議した。協議内容は、タブレット端末の貸与、管理、遵守事項、使用上の禁止事項、会議中における禁止事項、違反行為に対する措置である。今後は、令和5年6月議会から本格導入を目指し、それまでの間にペーパーレス文書共有システム「サイドブックス」について1月中に研修会を開催し、本格導入に向け準備をすることとした。



全員協議会の議題

議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます。

12月2日

・おでかけトーク(延期)
 ・議会タブレット導入・運営協議会経過報告

12月9日

・新庁舎における議場等のあり方

12月19日

・令和4年度12月補正予算(案)の概要
 ・令和4年度大田市病院事業会計12月補正予算(案)の概要
 ・第2次大田市総合計画(後期計画)の策定
 ・大田市中期財政見通し(令和4年度現在)
 ・第3次大田市男女共同参画計画の策定
 ・大田市新庁舎整備

**行革・公共施設調査検討
特別委員長中間報告**



10月3日、26日、28日、11月18日に委員会を開催し三点について審議を行った。

**①ふれあい会館について
【市の方向性】**

既存公共施設への移転と別地建て替えの両面で検討してきたが、別地に建て替えとする。場所は現在検討中。

【主な質疑】

問 移転または建て替えについて、それぞれの建築工事費の比較は。

答 ふれあい会館がサンレディー大田に移転した場合の改修費は当初、約1億5千万円と想定していたが、エレベーターや音響、照明、座席など様々な改修も含むと数億円規模となった。新築した場合、国、県から補助金が出る。

問 支援的なものはどの程度あるのか。

答 同一年度に、建て替えと解体を同時にすれば、両方、補助金がでる。その場合、国から約5,500万円、県から約2,800万円の補助があり、それも令和7年度が補助金の最終年度となっている。

**②サンレディー大田について
【市の方向性】**

令和5年度末をもって産業振興施設としての機能を廃止とする。その後利用として、避難所に不適切となっている大田まちづくりセンターをサンレディー大田の「働く女性の家」部分に移転する。旧消防庁舎に中央ブロックにおける災害用備品を保管しているが、ふれあいホールに移す。また、ふれあいホールのホワイエと舞台を活用し、現在、分庁舎にある情報企画課をサーバーを含めて移転する。

【主な質疑】

問 サンレディー大田での活動が女性の社会参加につながっていないと思われる理由は。

答 活動が社会参加につながっていないではなく、「女性の活動の場」と定めて制限するより、対象をより幅

広くできるのではないかと考えている。

問 分庁舎について、改修すれば使えるのではないか。

答 これまでも手を加えてきたが、建物自体の腐食が進んでいる。

問 サンレディー大田が役割を終えたと判断したとあるが、その根拠は。

答 現在は「趣味的」な講座・活動が増えてきている状況であり、「働く女性」に特化した施設から役割を変更する必要があると判断している。

問 ふれあいホールは、備蓄倉庫として活用するとあるが、規模がちょうどいいふれあいホールを残すべきではないか。また、更新すると、いくらかかるかなど、金額を示してほしい。

答 ホールについては、改修するとなると数億円規模の費用がかかると想定される。市民会館やあすてらすを活用してもらいたい。類似施設をまとめていくことが公共施設適正化である。サンレディー大田についての後利用にかかる金額を含めての詳細は来年2月中旬にお示ししたい。

③議場等のあり方について

江津市・雲南市・安来市の議場を視察した。江津市は多目的ホールと併用し、机や椅子を移動設置する方式の議場であった。また議員控室なども質素にコンパクトにまとめた。



▲江津市の議場(多目的ホール)
議会が開催されない場合は貸し出しも可能

雲南市・安来市は、ともに小さいながらも議場は議場として設置され、傍聴席も議員席のすぐ後ろに作られていた。全協室や委員会室は市民が利用できる施設になっていた。



▲安来市の議場
傍聴席が近く、市民が間近で議会を見学することができる。

【意見】

・江津の多目的な議場が良いが2名、雲南・安来の様な議場常設型が6名、わからないが1名であった。
・議員控室・全協室・委員会室・図書室などについては質素でコンパクトにして、市民に開放できるようにしてほしい。



写真で見る議会日誌



10/23

大田市総合防災訓練
(正副議長)



11/3

大田市文化祭 テープカット式
(議長)



11/5

東京大田市人会(議長)



11/9

全国市議会議長会
理事会・評議員会合同会議(議長)

全国市議会議長会
第229回理事会・第113回評議員会合同会議



11/19

山村留学センター「収穫祭」
(議長ほか)



1/4

令和5年大田市二十歳のつどい
(議長ほか)





インタビュー!!
interview!!

インタビューコーナー

～産業建設委員会編～



質問!

議員を目指した理由と
4年後の大田市の未来像は何ですか?

4月から新体制がスタートしました。議員全員が熱い想いを胸に市議会議員を志し、市民の皆さまとともに大田市の発展に向けて取り組んでいきたいと考えています。

今回は、議員を目指した理由と、大田市の未来像について聞いてみました!最終回は産業建設委員会です。

松村信之副委員長 (静岡町出身)

49才にして、それまでの自分をかえりみ、50才にして浅学非才な私でもなんとか大田市のために、市民のために、地域のためにお役に立ちたいとの思いで議員になりました。4年後の大田市の未来像は、山陰道も東西に接続し、大田市駅前周辺も様変わりするでしょう。変わりゆくものの、守らなくてはいけないもの全てが交わって、皆さん我慢の連続かも知れませんが、それでも笑顔の絶えないまちになることを期待します。

松村信之

根宜和之委員長 (川合町出身)

市内事業者の一員として、大田市の産業振興に少しでも貢献できればとの思いで目指しました。

ウイズコロナでの新しいコミュニケーションと生活スタイルに慣れて、誰もが新しい価値観で楽しみを見つけて笑顔になれる大田市となれば良いと思います。

根宜和之

塩谷裕志委員 (仁摩町出身)

約40年前にUターン、友達づくりから始まり、仕事を契機に「まちづくり」に関心が湧き、諸先輩がいる議会へ、多くの応援を頂き、若輩ながら生意気にも議員をスタートしました。

気付けば古参ですが、若い気持ちと初心を忘れず「市の将来」や「議会のあるべき姿」など答えは見えませんが、皆さんたちと一緒に論議し合い、市の発展の一助になればと思います。

塩谷裕志

宮脇康郎委員 (鳥井町出身)

高校卒業後大田を離れ、8年前に43年間暮らした大阪からUターンしました。後期高齢者の仲間入りを前に、少し不安もありましたが、地域に暮らす人の目線で、その声を市政に届け行動したいと議員をめざしました。人口減少と国の悪政が続くもとで、大田市の将来、決して明るいとは思いません。しかし、市民の皆さんと心を通わせ、支えあい、つながりを深めれば、前に進むことができます。ごいっしょに大田市の未来を切りひらきましょう。

宮脇康郎

清水 好委員 (祖式町出身)

18歳で大田市をはなれ、時々里帰りをしている時に、「大田はつまらんけ、なにもないけ」と何度か聞きました。退職後は、大田に帰り何か出来ないかと考えました。永久帰郷の時期にちょうど選挙があるとの事。議員になった方が大田の為に動けると思い立候補しました。市外の人たちが憧れるような大田市をみなさんと共に「まげに、ごうげに」元気よく大田を盛り上げましょう。

清水 好

柿田賢次委員 (長久町出身)

郵便配達42年、地域の皆さまとのふれあいを大切に、お客様の心を届ける仕事と思い勤めて来ました。多くの地域の皆さまの支えがあり、これまで勤められることができました。そして、その地域のために今度は私に何が出来るかと思い、郵便局時代に培った経験を活かし、皆さまの声を市政に届けるため立候補いたしました。

4年後は、誰もが「大田に住んでいて良かった」「大田に戻り働きたい」と感じるこのことのできる大田市であります。

柿田賢次

2023

明けましておめでとうございます。



大田市議会

おでかけトーク開催します

延期となっておりました大田市議会「おでかけトーク」の開催日時が決定しましたのでお知らせします。皆さんのお申込みをお待ちしております。私たちと一緒に「まちづくり」を考えましょう!

テーマは「まちづくり」

2月5日(日) 10:00~11:30

定員:各会場25名程度

大田会場 大田市役所4階大講堂

長久会場 長久まちづくりセンター

仁摩会場 仁万まちづくりセンター

申し込み・問い合わせ:大田市議会事務局

TEL0854-83-8137 ※申込締切:1/31(火)

広報広聴委員

- 委員長 塩谷 裕志
副委員長 亀谷 優子
委員 石田 洋治
委員 胡摩田 弘孝
委員 宮脇 康郎
委員 柿田 賢次
委員 伊藤 康浩

新年あけましておめでとうございます。
今年の干支は「癸(みずのと)卯(うさぎ)」です。
うさぎは跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復するとも言われています。縁起の良い年になることを願います。
さて、広報広聴委員会は、広報のあり方や紙面づくりに工夫を凝らし、市民の皆さんに気軽に読んでいただけるような広報活動に取り組んでおります。
また、2月5日には、「まちづくり」をテーマに「おでかけトーク」を開催いたしますので、お誘いあわせご参加下さい。今年も広報広聴委員会一同、皆様に親しまれる紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。
(胡摩田弘孝)

編集後記